

2024年3月期 第2四半期

決算補足説明資料

2023年 11月 14日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証プライム)

- 2024年3月期 第2四半期 連結損益状況
- 2024年3月期 第2四半期 セグメント別実績
- 2024年3月期 第2四半期 営業外及び特別損益等
- 2024年3月期 第2四半期 営業利益分析
- 2024年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末
- 2024年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況
- 2024年3月期 通期業績予想の修正
- 参考情報：セグメント別四半期業績推移

2024年3月期 第2四半期 連結損益状況



	2023年3月期 第2四半期 実績		2024年3月期 第2四半期 実績				2024年3月期通期予想 (11/14 公表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	63,599	100.0	74,555	100.0	+10,956	+ 17.2	152,000	49.0
営業利益	▲910	▲ 1.4	3,187	+ 4.3	+4,096	-	5,200	61.3
経常利益	▲411	▲ 0.6	2,925	+ 3.9	+3,336	-	4,600	63.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲1,746	▲ 2.7	1,333	+ 1.8	+3,079	-	2,300	57.9

● 2024年3月期 第2四半期業績概要（対前年同期比）

- 売上高: 中国の減産影響を受けるも他地域の半導体不足、サプライチェーンの混乱が落ち着いたことによる生産回復及び円安による為替換算影響により増収。
- 営業利益: 原材料価格、人件費及びエネルギーコストのインフレ影響は継続したものの、価格転嫁及び稼働状況の安定化に伴い採算性が向上し増益。
- 経常利益: 営業利益の増加により+ 3,336百万円増益。
- 純利益: 損害賠償損失引当金繰入額等の特別損失を計上するも経常利益の増加により増益。

● 為替レート

損益換算レート (単位: 円)	2023年3月期 第2四半期 平均レート	2024年3月期 第2四半期 平均レート	変動率
ドル	122.9	134.8	+10%
ユーロ	134.3	145.8	+9%
メキシコペソ	6.1	7.4	+23%
人民元	18.9	19.5	+3%
インドルピー	1.7	1.7	-
タイバーツ	3.7	4.0	+8%
ロシアルーブル	1.7	1.8	+4%
ブラジルレアル	24.3	26.6	+10%

2024年3月期 第2四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	対前年同期 増減	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	21,466	23,919	+2,453	228	879	+652
北南米	21,924	27,821	+5,896	▲2,158	535	+2,693
欧州	8,575	11,058	+2,484	▲154	582	+737
中国	9,177	8,531	▲646	209	91	▲118
アジア	12,357	13,692	+1,335	943	1,061	+118
連結調整	▲9,900	▲10,465	▲566	23	37	+14
合計	63,599	74,555	+10,956	▲910	3,187	+4,096

注：Geiger USAの売上及び営業利益は、経営管理区分の変更に伴う報告セグメントの変更（欧州⇒北南米）により、前期及び当期共に北南米に含まれています。

● 2024年3月期 第2四半期 地域別業績のトピックス（対前年同期比）

日本
【増収・増益】

売上高は半導体不足、サプライチェーンの混乱に伴う減産影響の軽減により増加。
利益面は、増収に加え安定した稼働及び固定費の抑制効果の継続により大幅増益。

北南米
【増収・黒字転換】

北米における半導体不足に伴う取引先の減産の解消傾向及び円安に伴う為替換算影響により、売上高は増加。
利益面は、価格転嫁の効果に加え稼働状況が改善傾向にあり採算性が回復し、営業黒字に転換。

欧州
【増収・黒字転換】

売上高は半導体不足、ロシア・ウクライナ問題によるサプライチェーンの混乱からの生産回復及び円安に伴う為替換算影響により増加。
利益面は、材料費の高騰、インフレを背景とする人件費の上昇及び光熱費等の高騰による固定費の増加に対する価格転嫁が進んだことで採算性が回復し、営業利益を計上。

中国
【減収・減益】

売上高はEVシフトの加速に伴う取引先の販売台数減が継続したことにより減少。
利益面は、生産数量の変動に対応したコストコントロール及び人件費等の固定費削減を図るも減収影響を補えず減益。

アジア
【増収・増益】

売上高は円安に伴う為替換算影響に加え安定した稼働により増加。
利益面は、材料高騰や人件費上昇、エネルギーコスト高騰等の影響を受けるも増収に伴う増益効果が補い増益。

2024年3月期 第2四半期 営業外及び特別損益等



(増減額の符号は対利益符号)

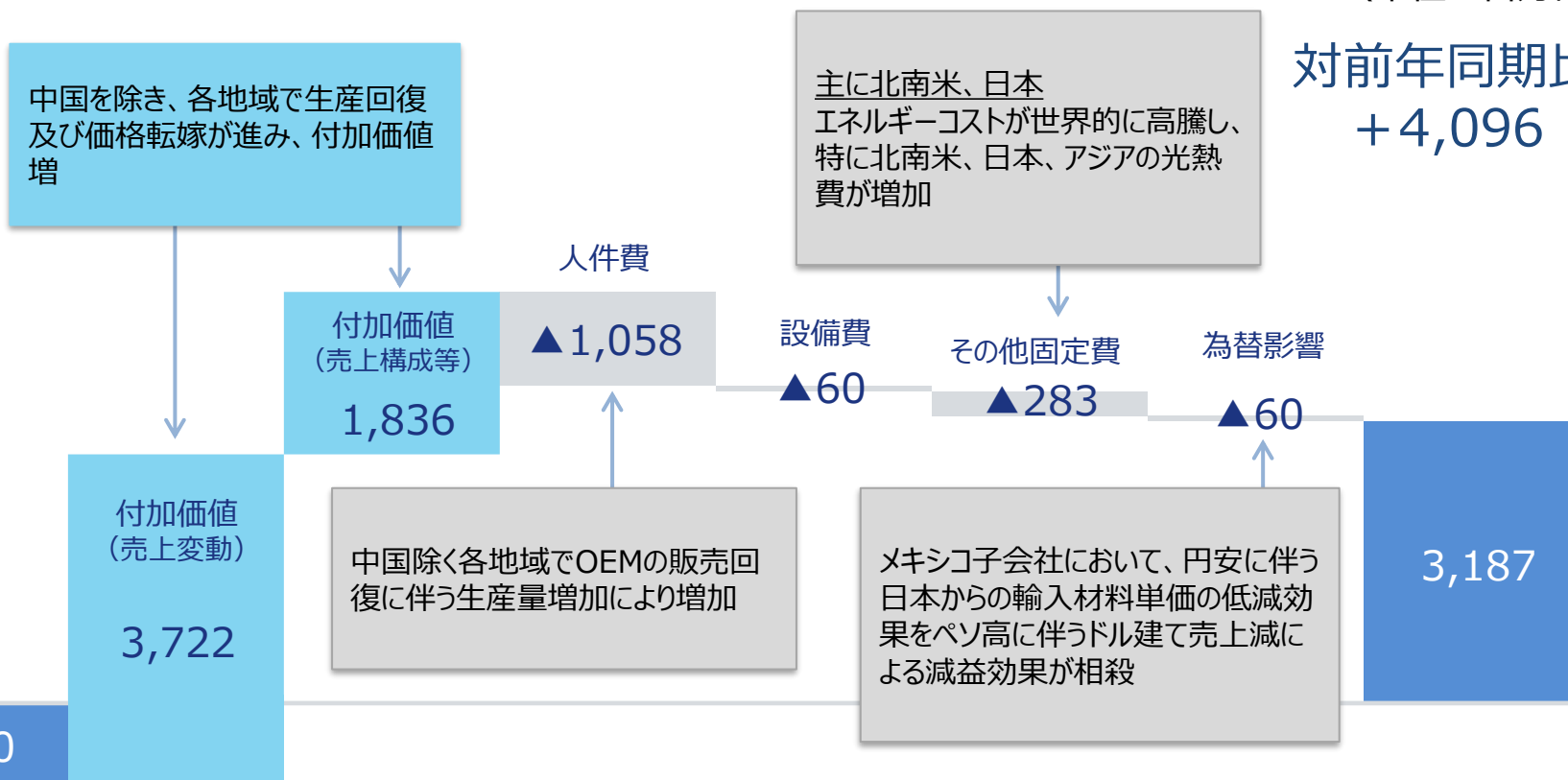
連結		2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期		
				増減額 (百万円)		増減率 (%)
営業利益		▲910	3,187	+ 4,096	-	
営業外 損益	営業外収益	944	341	▲ 604		
	営業外費用	446	602	▲ 156		
経常利益		▲411	2,925	+ 3,336	-	
特別利益		21	7	▲ 15		
特別損失		308	506	▲ 198	損害賠償損失引当金繰入額 ▲73 (前期 ▲272、当期 ▲345) 固定資産除却損▲126 (前期 ▲31、当期 ▲158)	
税引前四半期純利益		▲698	2,426	+ 3,124	-	
法人税等		787	776	+ 11		
非支配株主利益		262	318	▲ 56		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		▲1,746	1,333	+ 3,079	-	

2024年3月期 第2四半期 営業利益分析

材料費、人件費、生産費等のインフレ影響は継続するものの、生産回復による増収及び価格転嫁に伴う付加価値増加により利益水準は改善。

(単位：百万円)

対前年同期比
+4,096



2023年3月期
第2四半期実績

2024年3月期
第2四半期実績

注：付加価値（売上変動）＝ 連結全体の売上増減（為替補正後） × 前期付加価値率（為替補正後）

2024年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末



連 結		2023年3月期末		2024年3月期 第2四半期			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
資産	流動資産	56,555	58.1	59,895	57.2	+ 3,340	総資産： +7,373 増加 ① 現預金 ▲293 ② 営業債権 +3,958 ③ 棚卸資産 ▲549 ④ 有形固定資産 +2,236 ⑤ その他投資有価証券 +1,545
	固定資産	40,725	41.9	44,758	42.8	+ 4,033	
	資産合計	97,280	100.0	104,653	100.0	+ 7,373	
負債	流動負債	39,693	40.8	44,053	42.1	+ 4,360	負債総額： +2,604 増加 ⑥ 営業債務 +1,342 ⑦ 短期借入金 +4,004 ⑧ 未払税金 ▲760 ⑨ 未払金 ▲680 ⑩ 流動負債その他 +364 ⑪ 長期借入金 ▲2,584 ⑫ 繰延税金負債（固定） +525
	固定負債	17,675	18.2	15,919	15.2	▲ 1,756	
	負債合計	57,369	59.0	59,972	57.3	+ 2,604	
	純資産合計	39,911	41.0	44,680	42.7	+ 4,769	
負債純資産合計		97,280	100.0	104,653	100.0	+ 7,373	純資産： +4,769 増加 ⑬ 利益剰余金 +878 ⑭ 有価証券評価差額金 +1,044 ⑮ 為替換算調整勘定 +3,396 ⑯ 非支配株主持分 ▲274

(注1) D/E レシオ…前期末 0.78 → 当四半期末 0.72

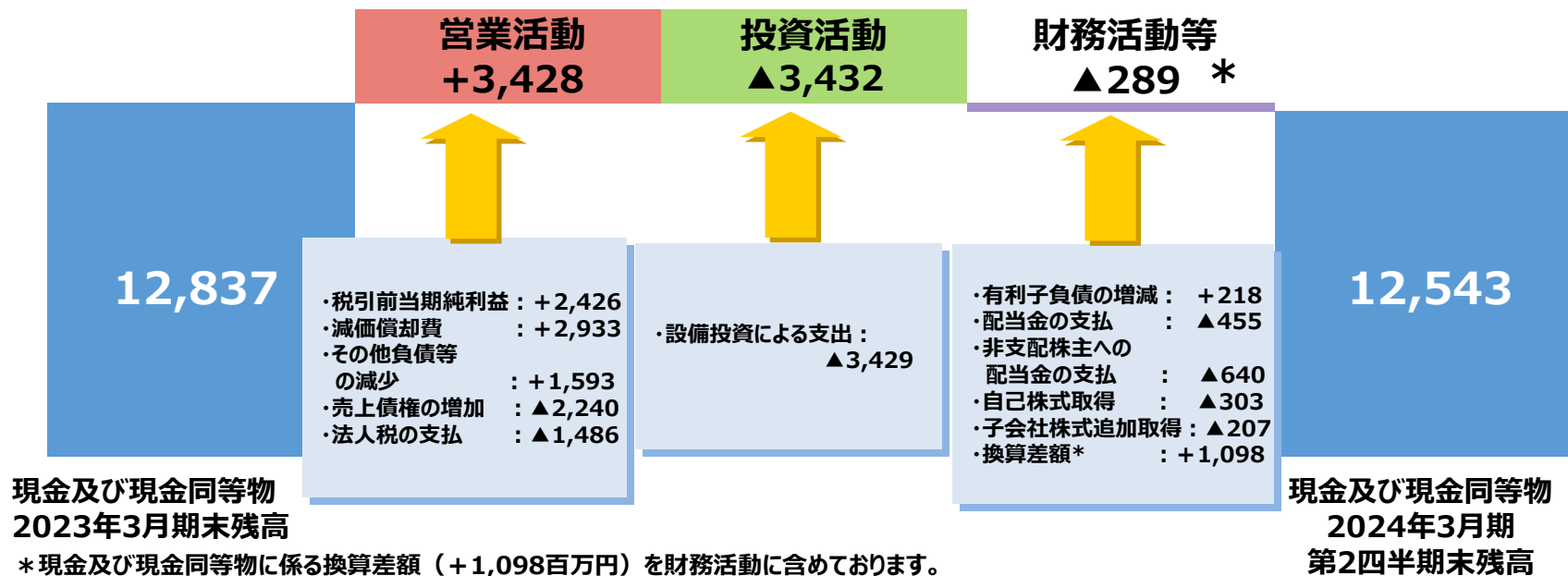
(注2) 自己資本比率…前期末 37.5 → 当四半期末 39.7

	前期末	当四半期末
①有利子負債	28,660	29,994
②自己資本	36,527	41,571
①/②	0.78	0.72

2024年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況

● 2024年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	2,516	3,429	+913
減価償却費	2,836	2,933	+97

2024年3月期 通期業績予想の修正

第2四半期実績、最新の業績及び為替レートの状況等を踏まえて通期予想を上方修正

連結	2024年3月期 通期見込（百万円）		対前回増減	
	前回予想 （2023年5月12日）	今回予想 （2023年11月14日）	増減額 （百万円）	増減率 （%）
売上高	146,000	152,000	+6,000	+4.1%
営業利益 【営業利益率】	4,000 +2.7%	5,200 +3.4%	+1,200	+30.0%
経常利益 【経常利益率】	3,200 +2.2%	4,600 +3.0%	+1,400	+43.8%
当期純利益 * 【当期純利益率】	1,400 +1.0%	2,300 +1.5%	+900	+64.3%
一株あたり純利益（円）	38.78	63.84	+25.06	+64.6%
配当（円）	25.0	25.0	—	—

(*) 親会社株主に帰属する当期純利益

通期業績予想の為替前提

為替レート	2024年3月期		増減額 （円）	増減率 （%）
	前回予想 （2023年5月12日）	今回予想 （2023年11月14日）		
米ドル	125.0	135.0	10.0	+8.0%
ユーロ	140.0	145.0	5.0	+3.6%

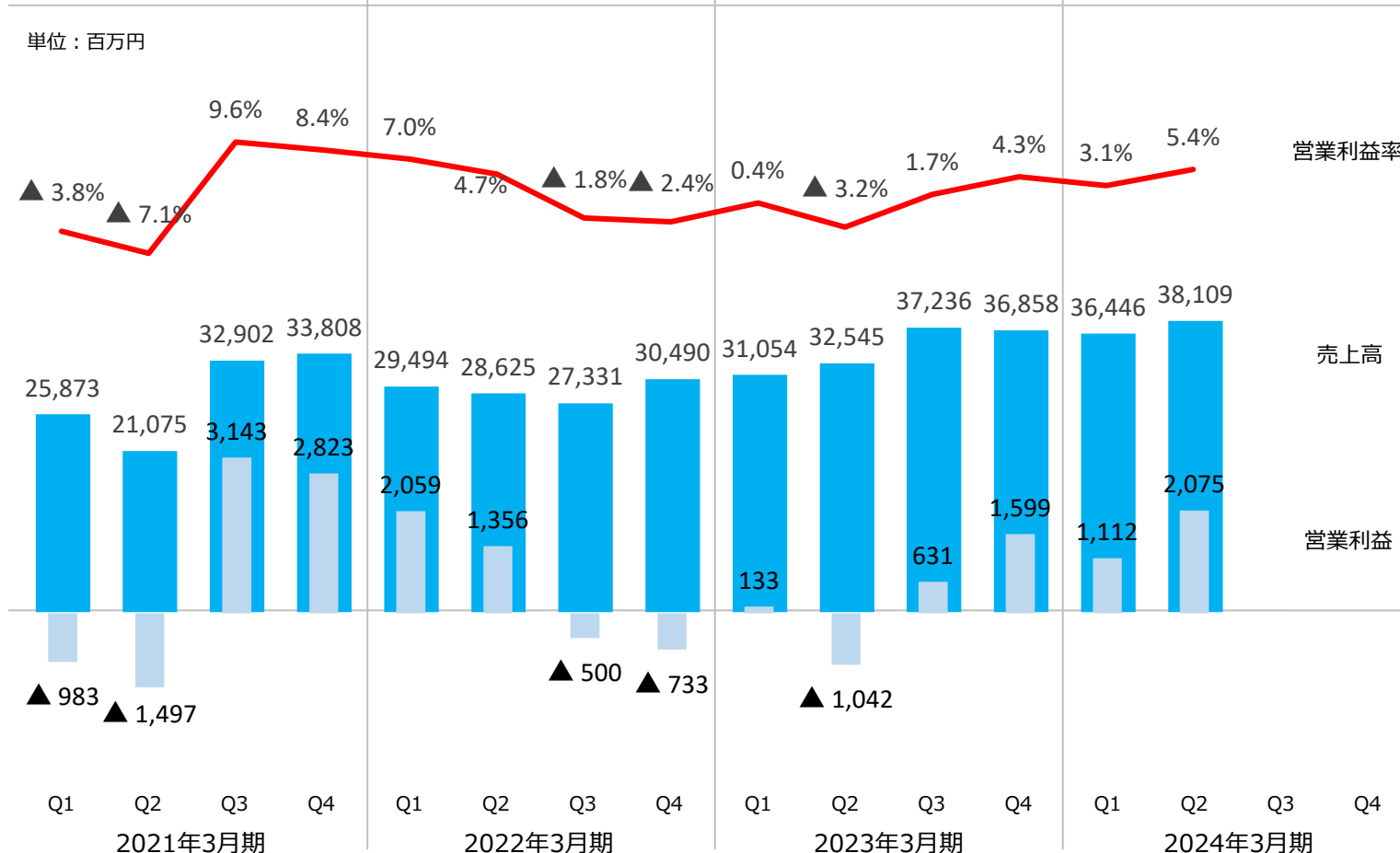
■ 参考情報：セグメント別四半期業績推移

セグメント別四半期業績推移

<連結>



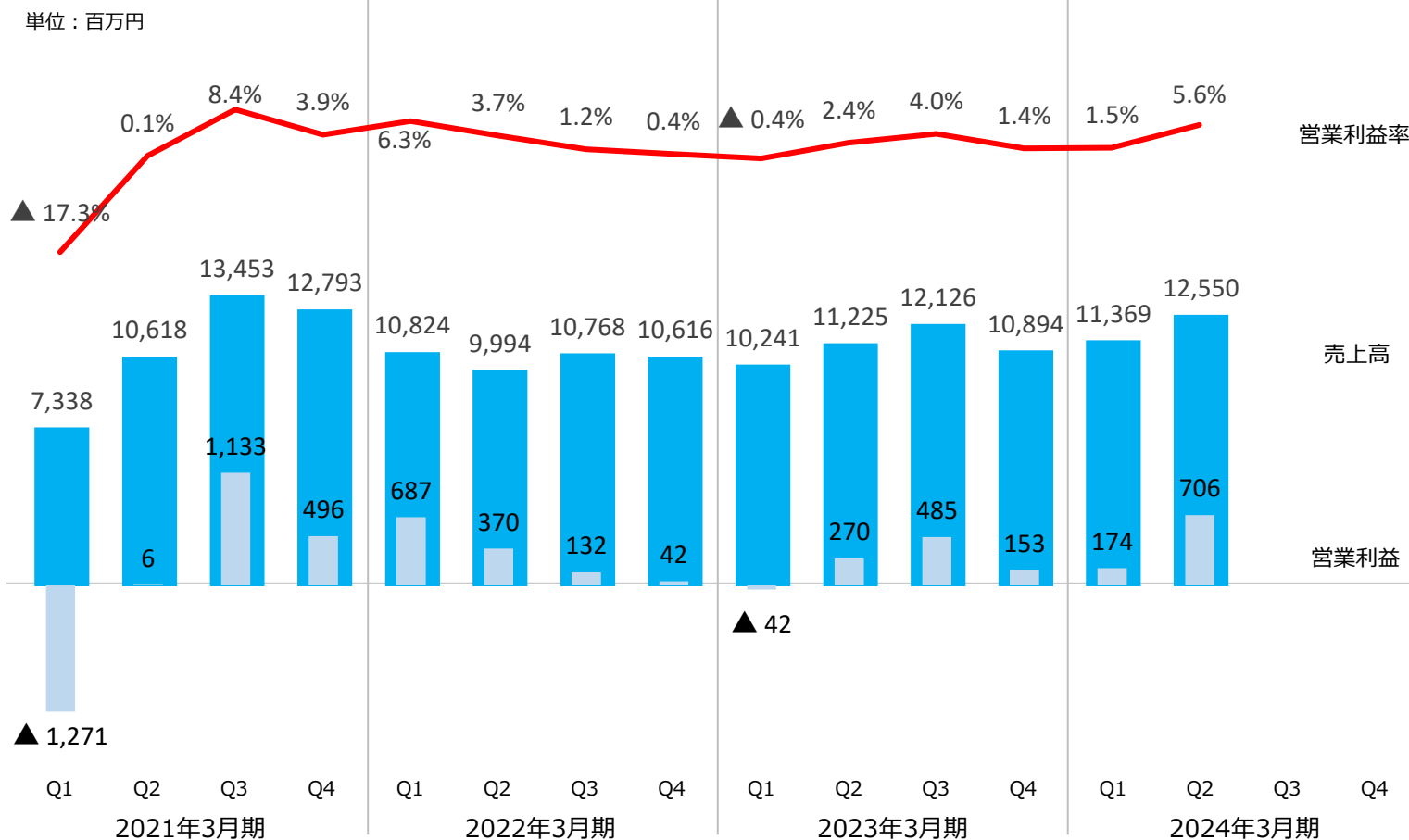
売上高	113,657百万円	売上高	115,940百万円	売上高	137,692百万円	売上高	74,555百万円
営業利益	3,486百万円	営業利益	2,183百万円	営業利益	1,321百万円	営業利益	3,187百万円
営業利益率	3.1%	営業利益率	1.9%	営業利益率	1.0%	営業利益率	4.3%
為替 (円/USD)	106.8円	為替 (円/USD)	109.8円	為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	134.8円



セグメント別四半期業績推移 <日本>



売上高	44,202百万円	売上高	42,201百万円	売上高	44,485百万円	売上高	23,919百万円
営業利益	364百万円	営業利益	1,230百万円	営業利益	865百万円	営業利益	879百万円
営業利益率	0.8%	営業利益率	2.9%	営業利益率	1.9%	営業利益率	3.7%
為替 (円/USD)	106.8円	為替 (円/USD)	109.8円	為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	134.8円

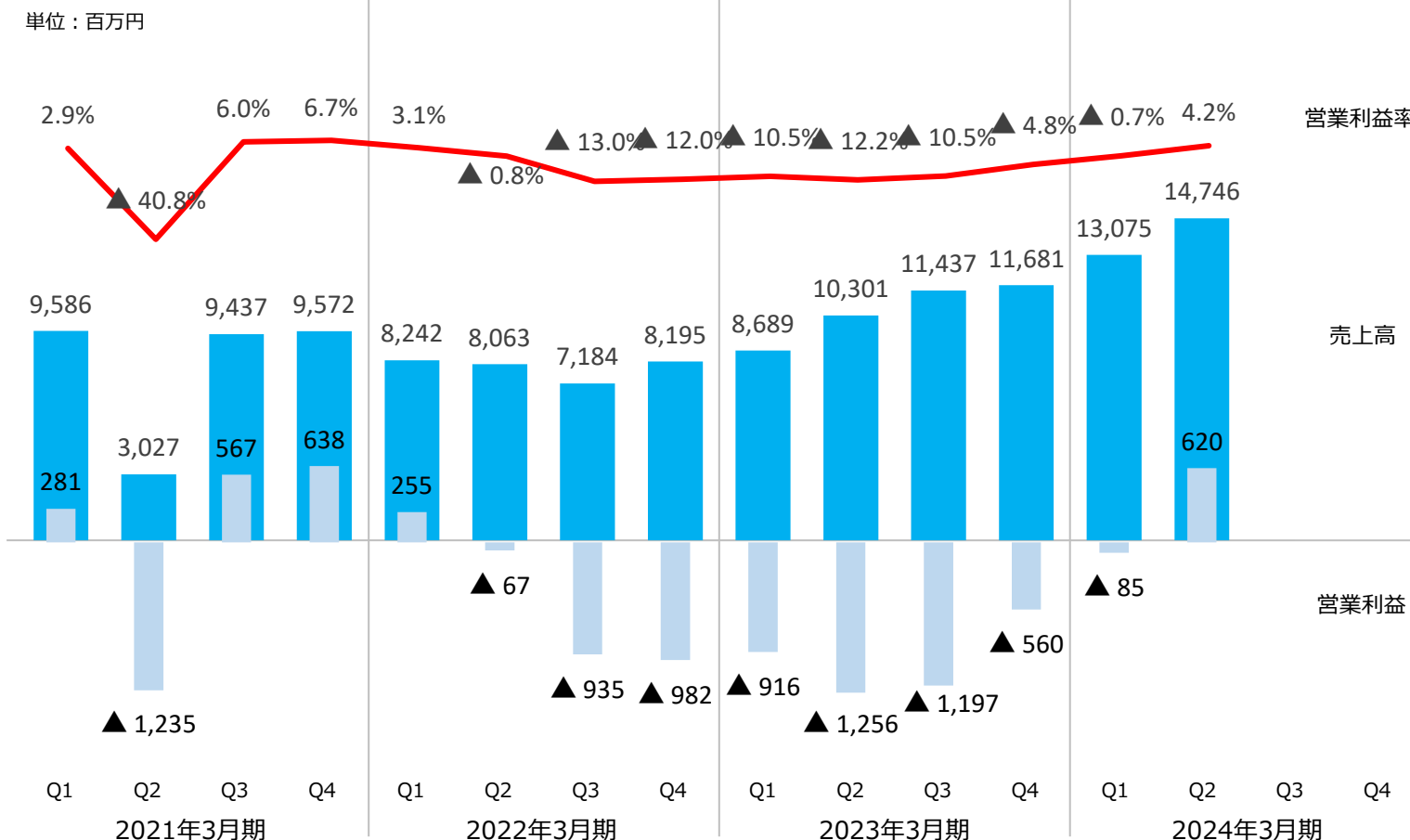


セグメント別四半期業績推移

<北南米>



売上高	31,621百万円	売上高	31,683百万円	売上高	42,107百万円	売上高	27,821百万円
営業利益	251百万円	営業利益	▲1,729百万円	営業利益	▲3,928百万円	営業利益	535百万円
営業利益率	0.8%	営業利益率	▲5.5%	営業利益率	▲9.3%	営業利益率	1.9%
為替 (円/USD)	106.8円	為替 (円/USD)	109.8円	為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	134.8円



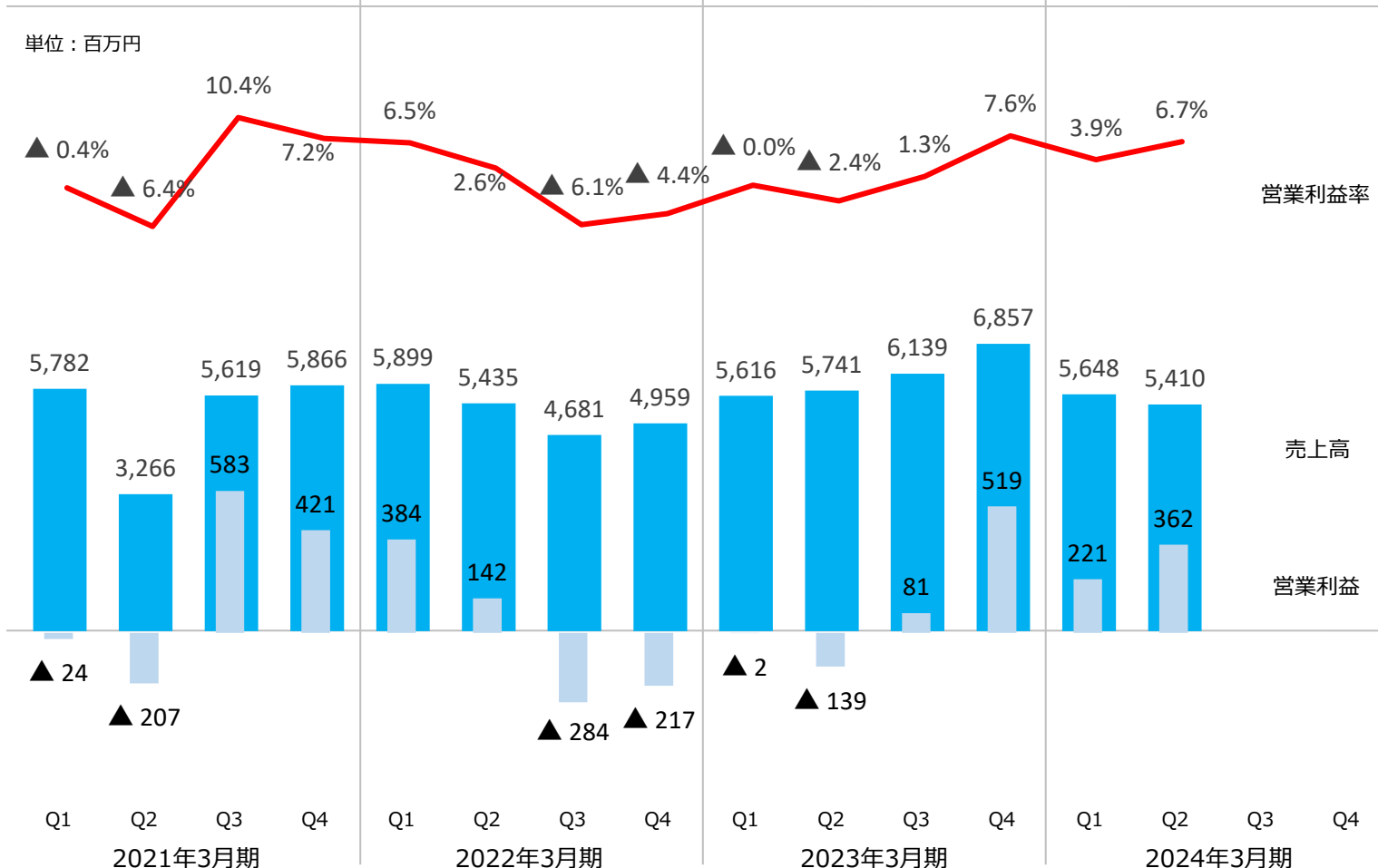
※2024年3月期より、欧州セグメントに含まれていたGeiger USAを北南米セグメントに変更しています。

セグメント別四半期業績推移

<欧州>



売上高	20,533百万円	売上高	20,973百万円	売上高	24,353百万円	売上高	11,058百万円
営業利益	772百万円	営業利益	25百万円	営業利益	460百万円	営業利益	582百万円
営業利益率	3.8%	営業利益率	0.1%	営業利益率	1.9%	営業利益率	5.3%



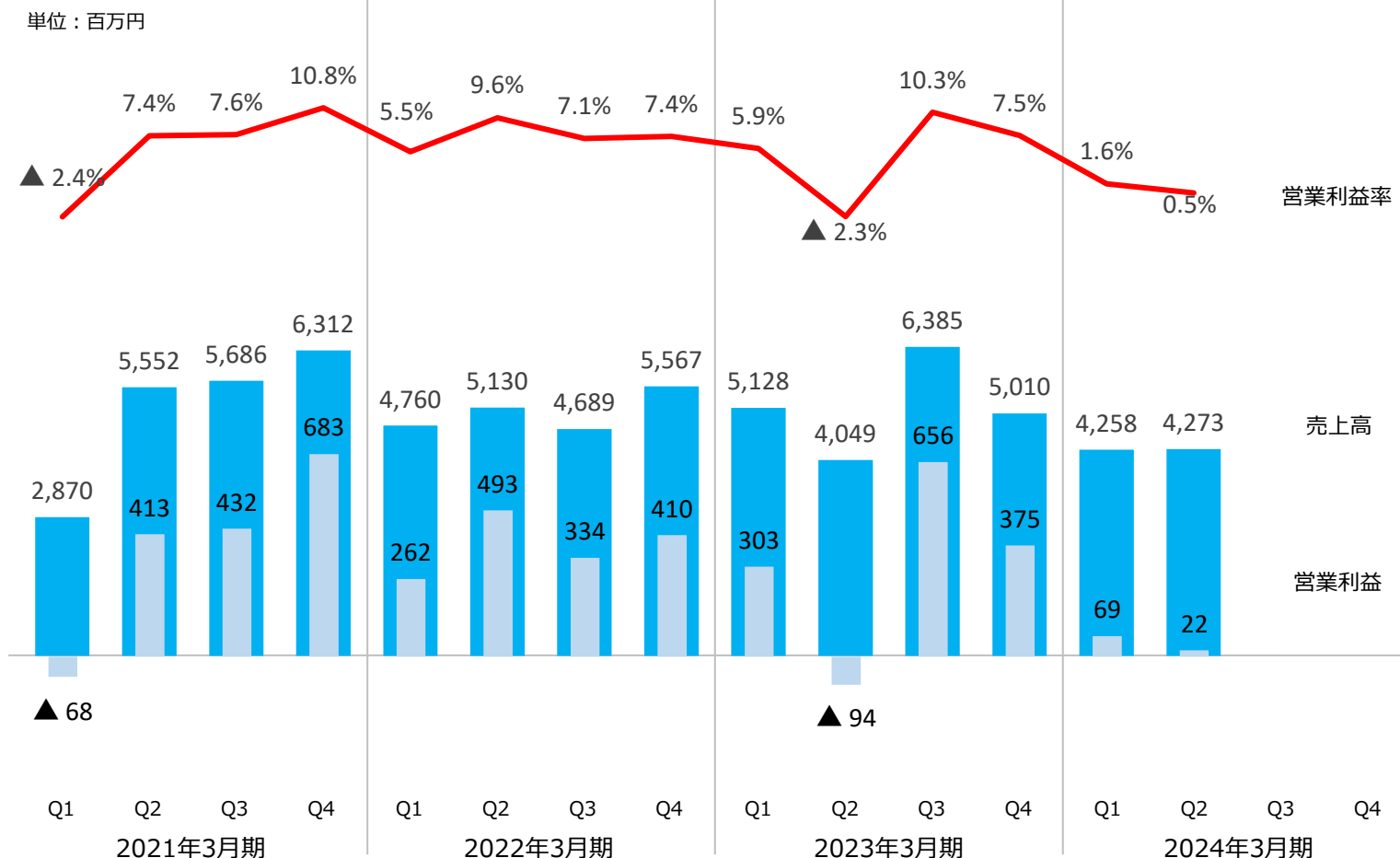
※2024年3月期より、欧州セグメントに含まれていたGeiger USAを北南米セグメントに変更しています。

セグメント別四半期業績推移

<中国>



売上高	20,419百万円	売上高	20,146百万円	売上高	20,572百万円	売上高	8,531百万円
営業利益	1,460百万円	営業利益	1,499百万円	営業利益	1,240百万円	営業利益	91百万円
営業利益率	7.2%	営業利益率	7.4%	営業利益率	6.0%	営業利益率	1.1%

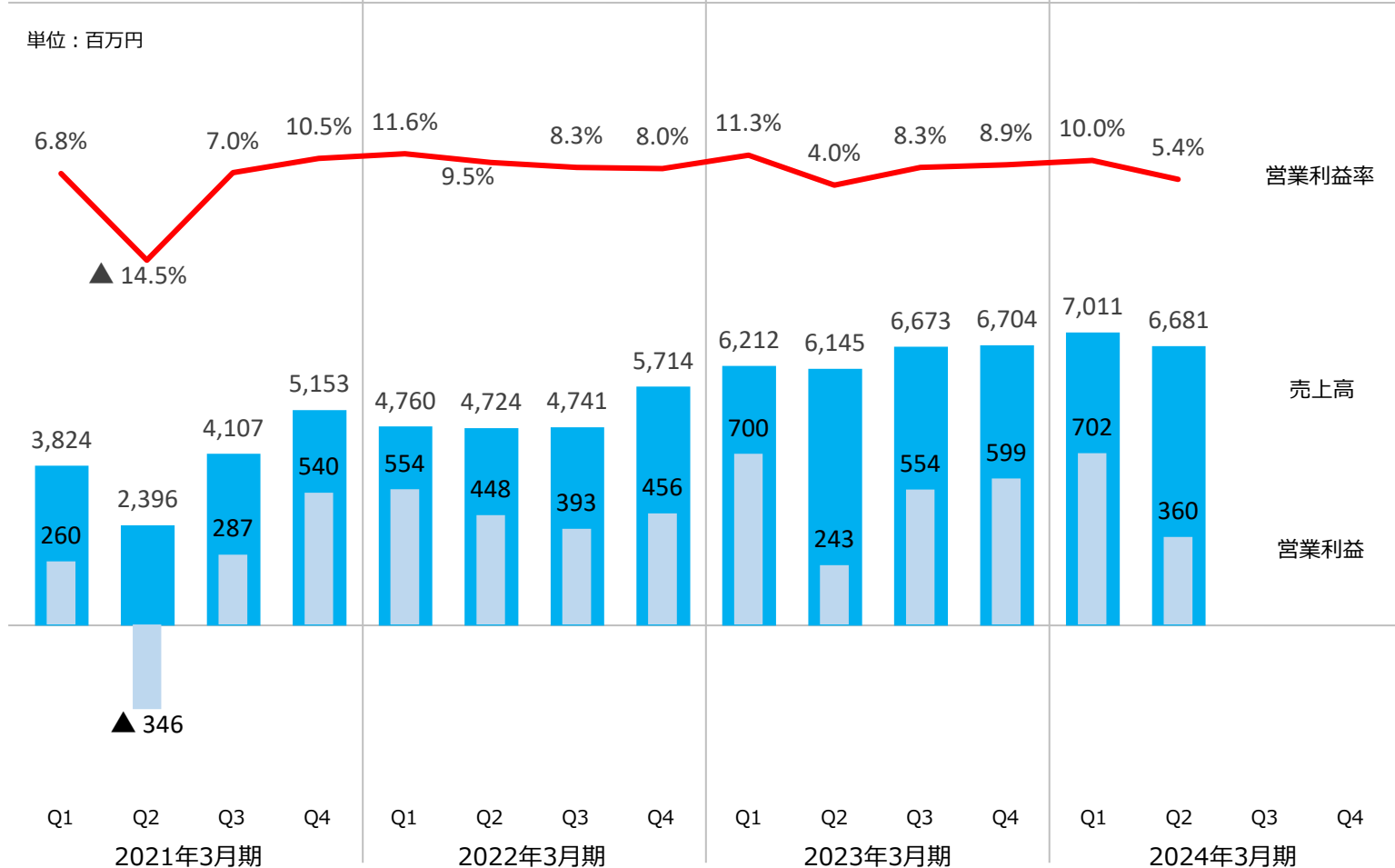


セグメント別四半期業績推移

<アジア>



売上高	15,480百万円	売上高	19,940百万円	売上高	25,735百万円	売上高	13,692百万円
営業利益	740百万円	営業利益	1,851百万円	営業利益	2,096百万円	営業利益	1,061百万円
営業利益率	4.8%	営業利益率	9.3%	営業利益率	8.1%	営業利益率	7.8%



このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。